

第2回 地域包括ケア事例研究会アンケート集計結果

テーマ：「住民主体の移動・外出サービスを支える」

日程：平成30年6月1日（金） 13時30分～17時00分

会場：さいたま新都心合同庁舎1号館12階 共用会議室12

アンケート回収率：61.8%

1. 本日の事例研究会は参考となりましたか。（1つ選択）

①大変参考になった	②概ね参考となつた	③あまり参考にならなかつた	④その他	⑤回答なし	合計
21	21	0	0	0	42

2. 本日の事例研究会の成果として、貴自治体において実現可能な取組が見つかりましたか。（1つ選択）

①直ちにできそうな取組がある	②検討したい取組がある	③できそうな取組が見つからなかつた	④その他	⑤回答なし	合計
5	34	1	1	1	42

○伊藤さんからご紹介のあった保険のこと。自治体内へのプロモーションが協力体制には効果的であること。

○社福の空車両の利用等、持ち帰って検討したい。

○まずは住民がどれくらい理解しているかというのをきちんと把握するところから始めたい。（制度の理解や移送の必要性など）

3. 本日の事例研究会の運営等についてご感想をお聞かせください。

○グループワークの時間は少ない感を受けました。講義も良かったので、時間調整は難しいかと思います。（同旨ほか10件）

○講師の話の内容が重なっており、そこを整理すれば、時間がオーバーせず、事例の詳細も聞けたのではないかと思いました。

○国交省の中間報告がさらに踏み込んだ結論となり公表されるのを待っています。

4. 今後、地域包括ケアを推進する上で厚生局や自治体に期待することは何ですか。

○移送手段については課題が多くあるので、続きもやって頂けるとありがたいです。（同旨ほか10件）

○一般介護予防事業・生活支援体制整備事業の連動、連携について（同旨ほか2件）

○地域包括ケアと地域共生社会を連携させた好事例の紹介をしてもらいたいです。

○ひとり暮らしの方が多くなっている、食事について、地域としてやっていること、できることを考えてみたい。

○在宅医療・介護連携。